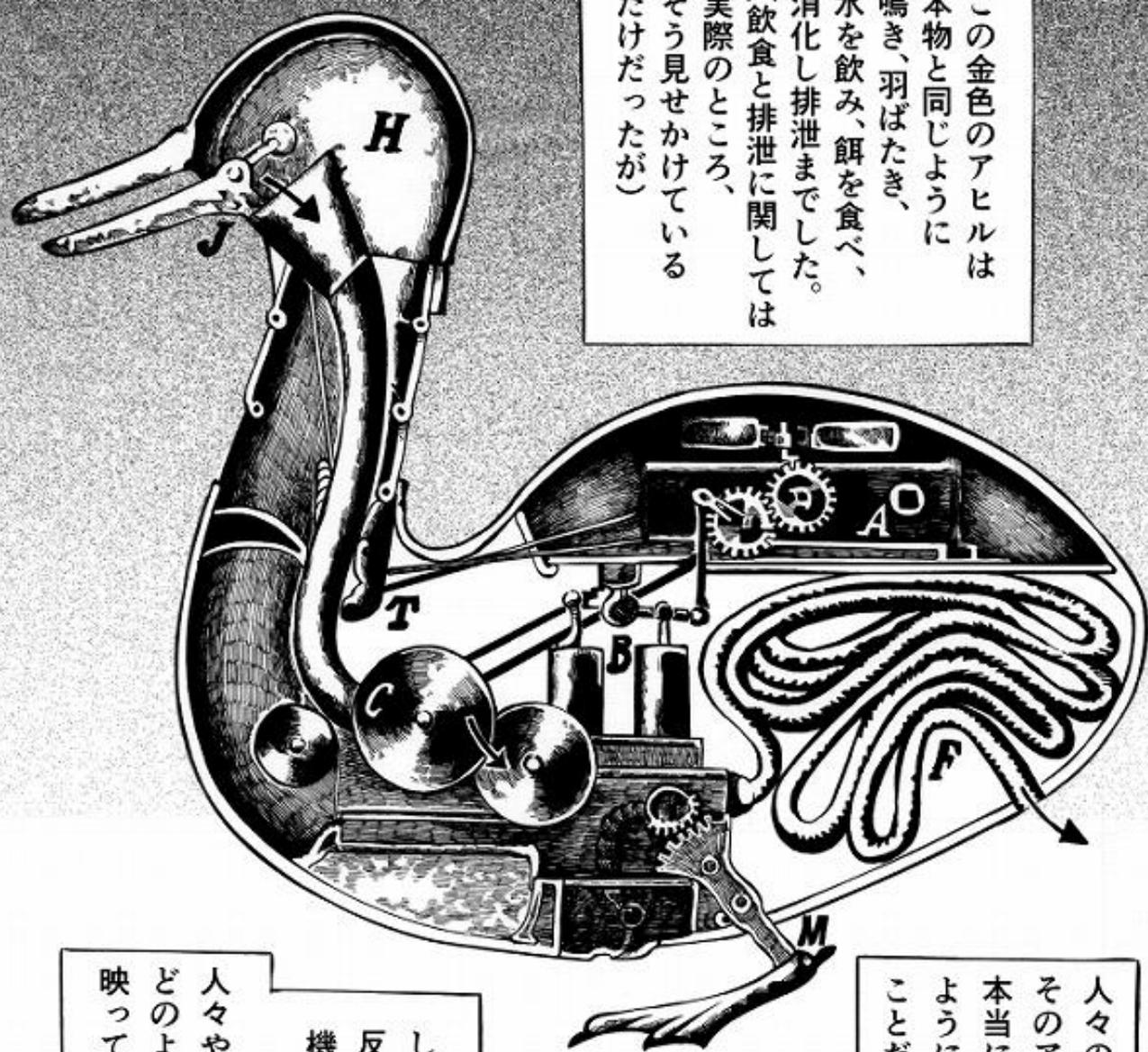


# オートマトン 機械生物

18世紀、  
ある機械人形が  
フランスのパリの人々に  
もてはやされた。  
“ヴォーカンソンのアヒル”  
である。

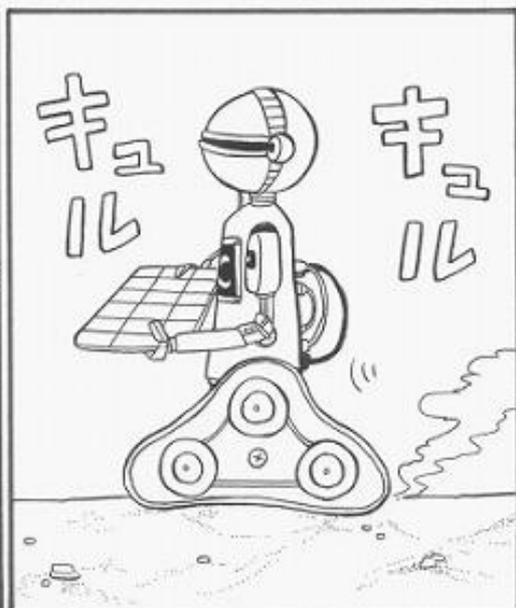
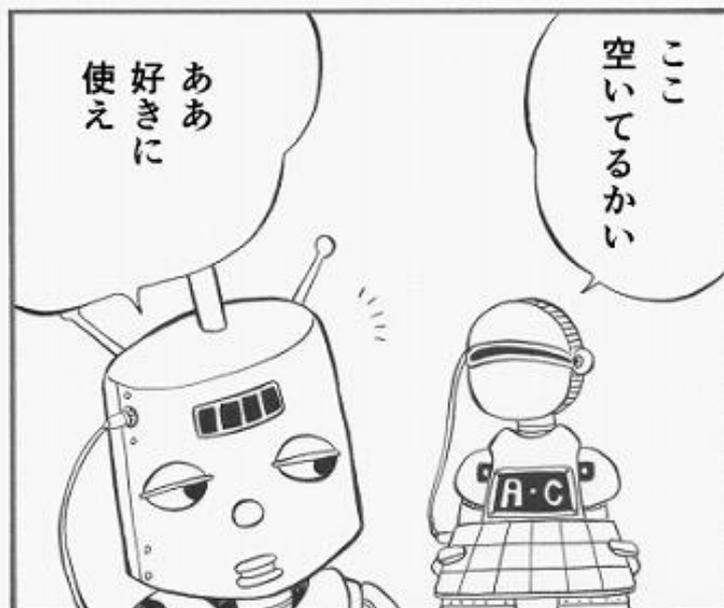
この金色のアヒルは  
本物と同じように  
鳴き、羽ばたき、  
水を飲み、餌を食べ、  
消化し排泄までした。  
(飲食と排泄に関しては  
実際のところ、  
そう見せかけている  
だけだったが)

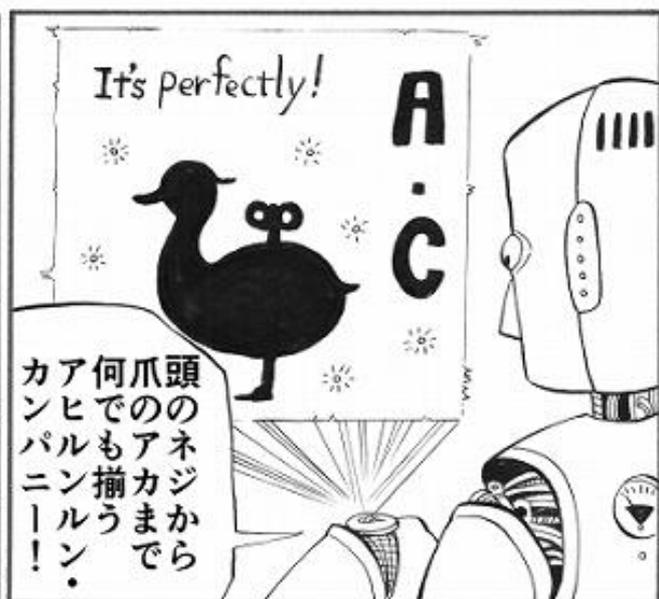
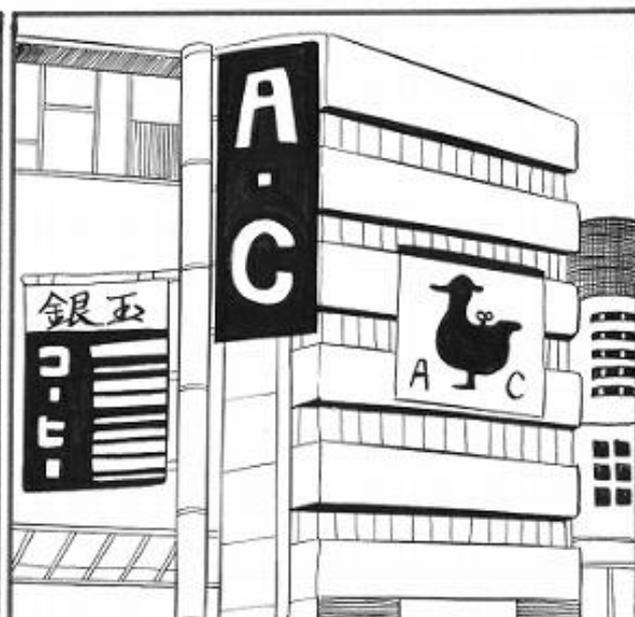
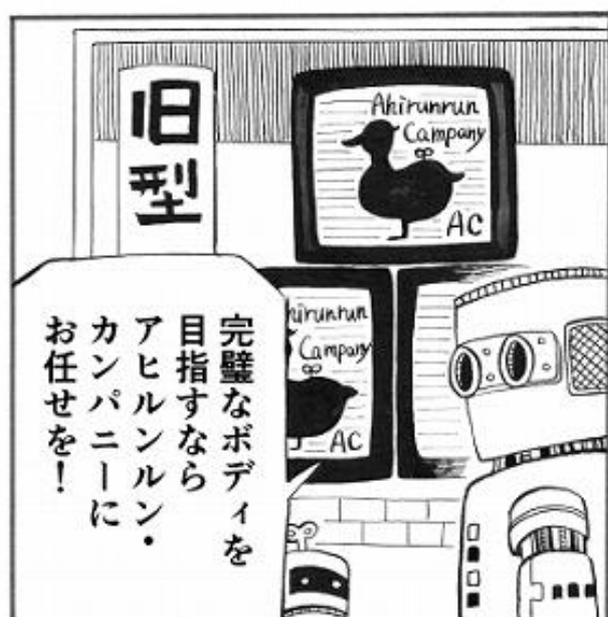
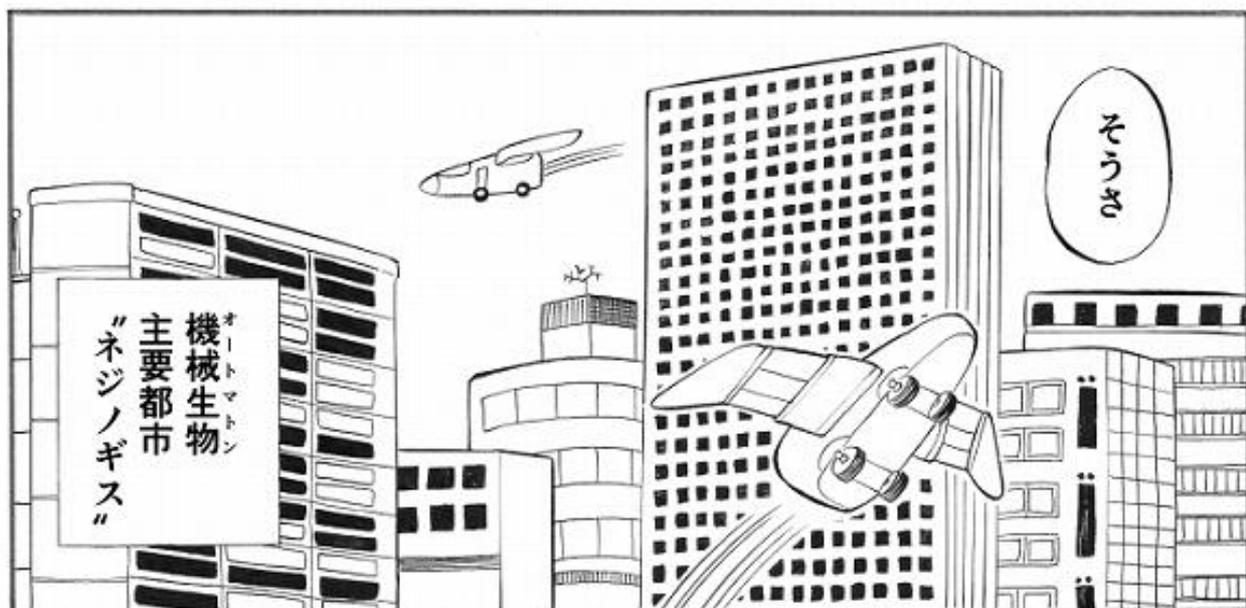


人々の目には  
そのアヒルがまるで  
本当に生きている  
ように見えた  
ことだろう。

しかしながら、  
反対に彼の  
機械仕掛の瞳には

人々や世界は  
どのように  
映っていたのだろうか。





機械生物以外の生態ピラミッド

消費者(動物)  
生産者(植物)  
分解者(昆虫、菌)

しかし我々は…

例えばそう、生態系についてですが…

我々以外の生物は食物連鎖という形で、すべてつながっています

オートマトン機械生物の文明が生まれてから220年…

我々は常に進化し続けてきました

アヒルンルン社長だ

A.C社長 アヒルンルン

再生可能エネルギー

太陽光、地熱  
風力、雷

↓ 変換利用

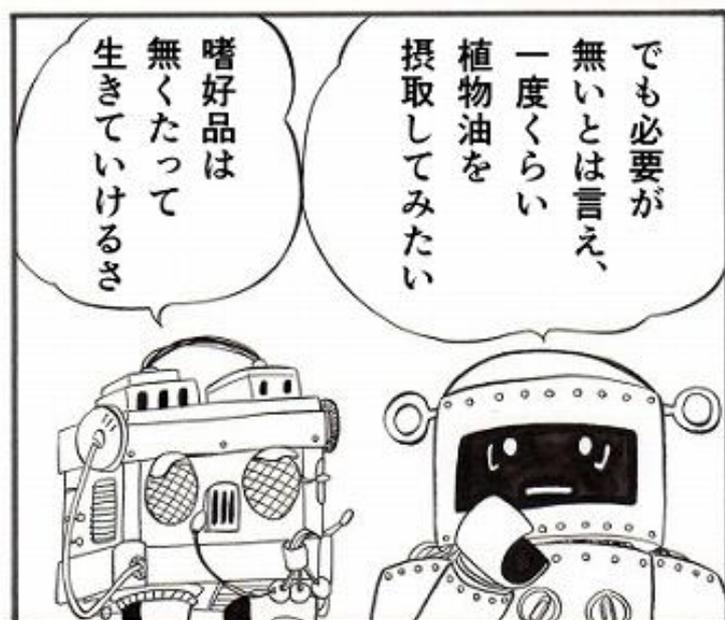
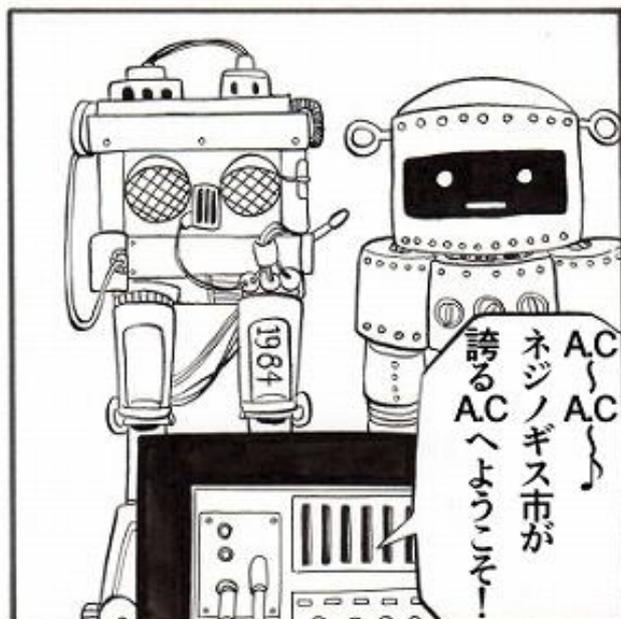
オートマトン機械生物が生きるのに必要なエネルギー

200年前にわが会社A・Cは太陽光、地熱、風力、雷などの再生可能エネルギーをオートマトン機械生物が生きる上で必要なエネルギーに変換利用できる技術の開発に成功しました

以前は生きるために石炭、石油、天然ガスなどの植物、動物的資源が必要でしたが

そう、現在のオートマトン機械生物は地球史以来の完璧な存在と言えるでしょう

これにより我々は、生産者であると同時に消費者となりました  
分解者は必要ありません  
つまり、自分達だけで生態系の輪を完結させるに至ったのです









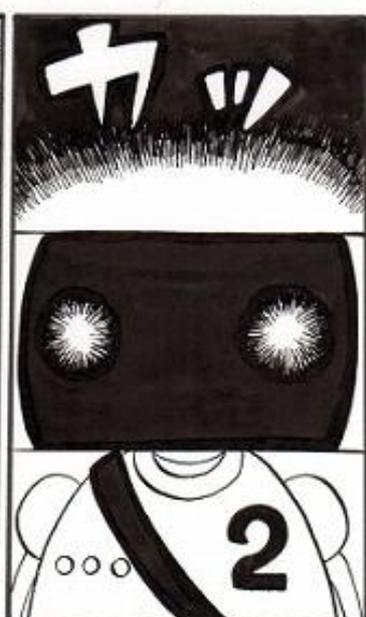
早く兵隊どもの  
核を別のボディに  
入れ替えろーっ!!!



早く兵隊どもの  
核を回収しろーっ!!



さあ!!  
再度突撃ーっ!!!



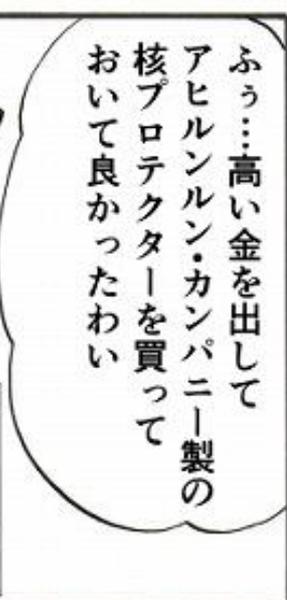
勝利は  
我が手に!  
ネジノギスの  
英雄達よ!



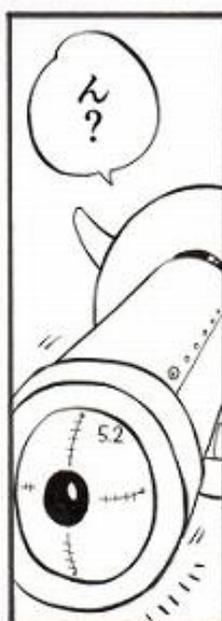
お返しに  
ネジノギスの  
市兵どもに  
目にも  
見せてやれ



A.C製 核プロテクター  
どんな熱衝撃からも  
核を守ります。  
永遠のオートマトン生を  
あなたに...



ふう...高い金を出して  
アヒルンルン・カンパニー製の  
核プロテクターを買って  
おいて良かったわい



おのれーっ!!!

という訳で  
先の大戦では  
我が市が勝利し、  
このオイルの  
生産地を手に入れる  
ことができました

ああ、戦利品  
だったのか

我々の生活を  
より豊かにするために  
タバコやタールなど一部の  
動植物的資源は  
まだ必要です



それは嗜好品の生産という  
意味だけでなく  
車、エアコン、兵器などの  
工業製品を開発、  
量産するためにも。  
それらの製品により経済は  
回り、市は発展していくのです。  
まあ、向上心も無く、ただ生きて  
いるだけの多くの機械生物には  
無関係なことですがね。

しかし私は市長です  
市の繁栄は私の使命

パカ

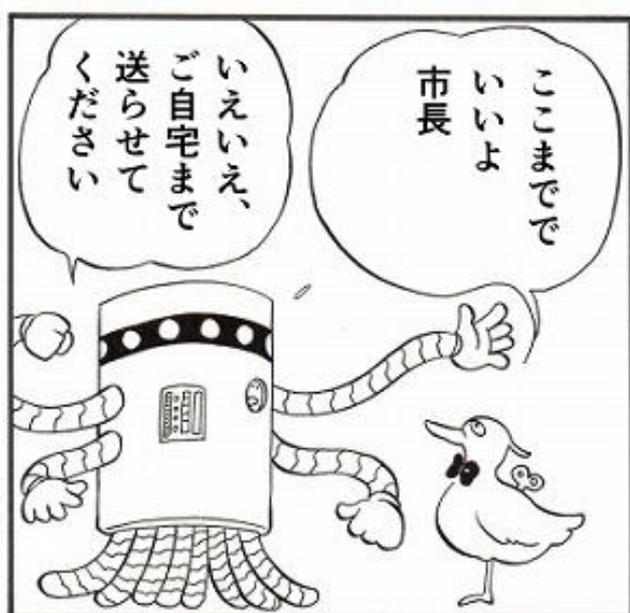
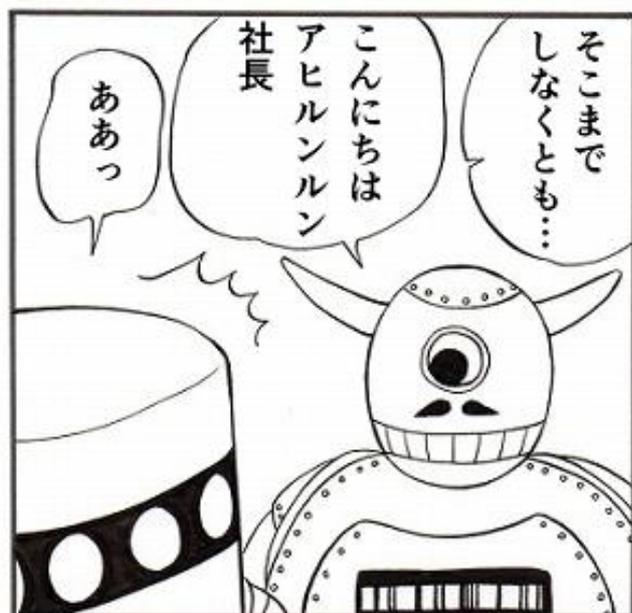
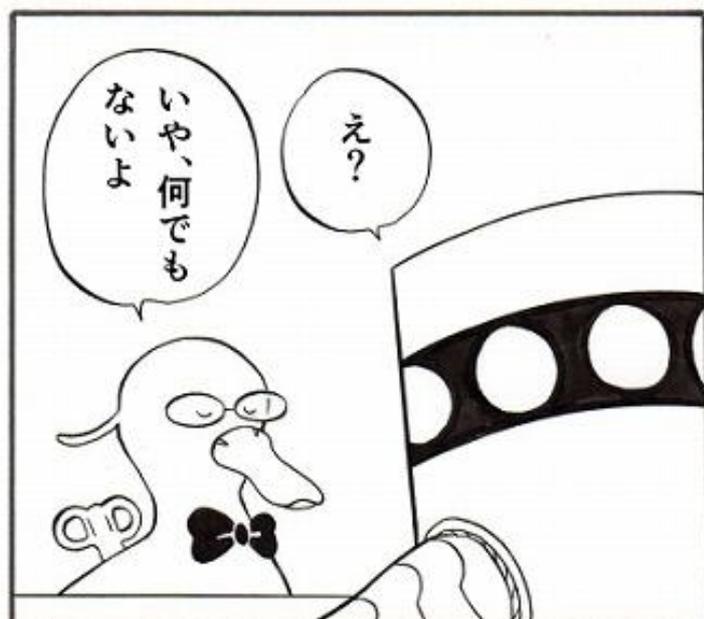
けれども  
これから先、

あなたの会社の体プロテクターが  
全世界で普及してしまえば、  
今までの兵器をいくら  
保有しても、市間の抑止力には  
つながらなくなります

ともすれば  
我が市の  
領土も…

ドホ。ホホ。

ですから一刻も早く  
次世代兵器を開発して  
いただきたいのです!!



ピストンナット市長!!!

フン、  
ネジノギスの  
市長も一緒か

その：  
こないだの件は  
考えてください  
ましたか？

ん？

僕の会社の  
拠点を君の市へ  
移すという話かい？

なんと!?

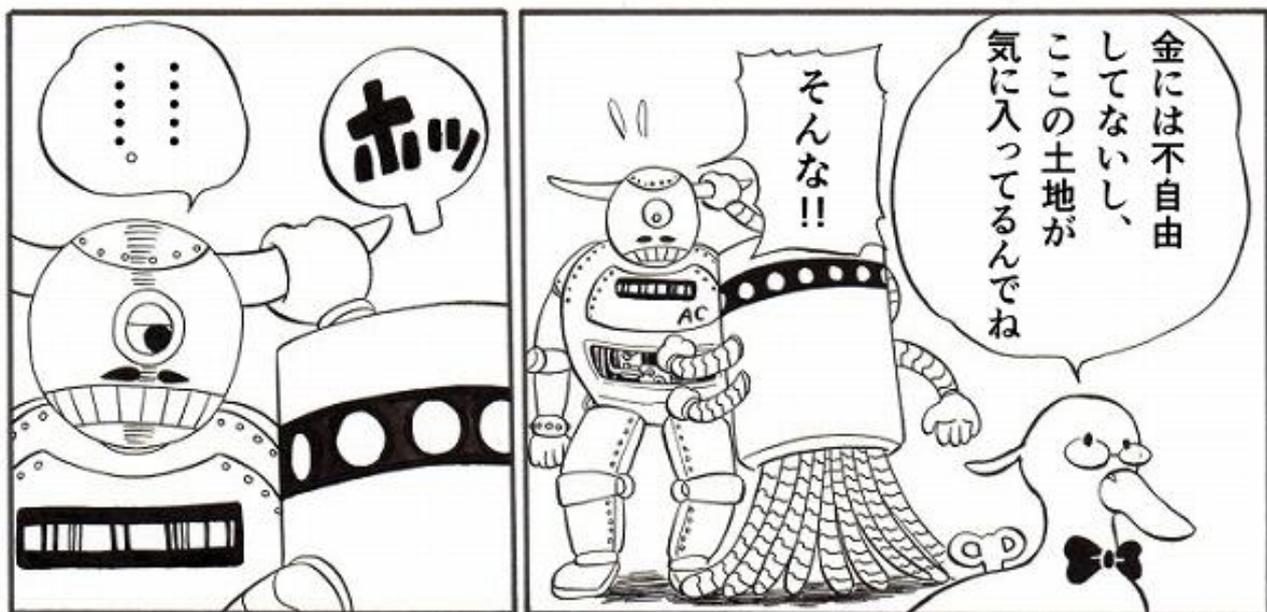
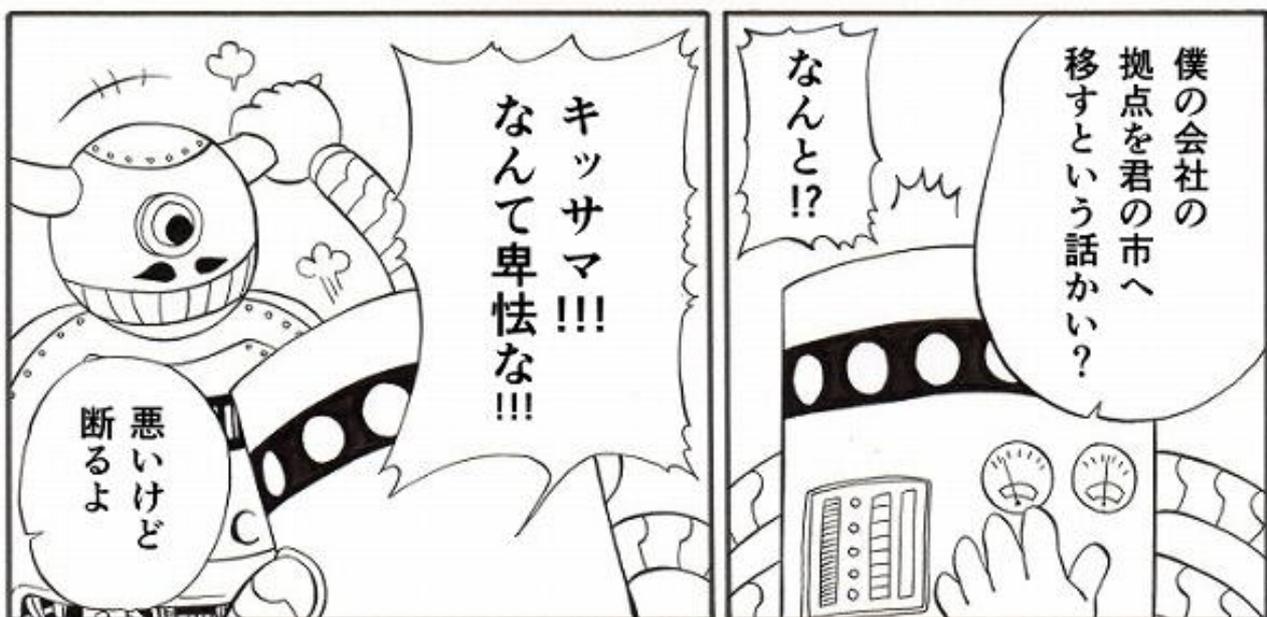
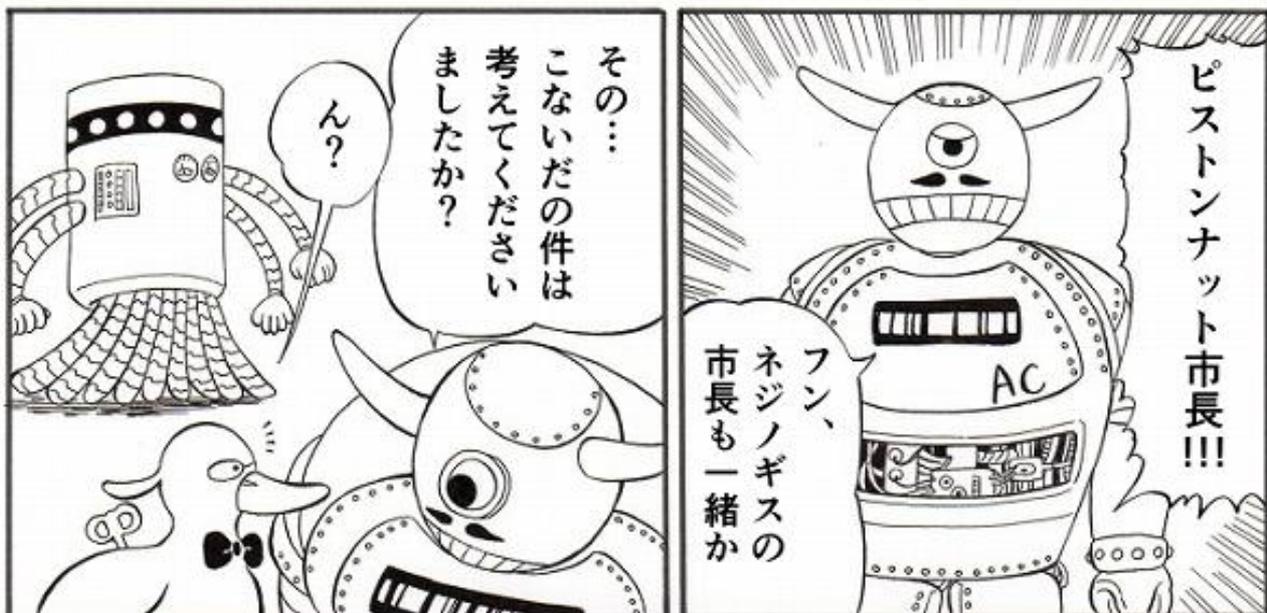
キツサマ!!!  
なんて卑怯な!!!

悪いけど  
断るよ

金には不自由  
してないし、  
この土地が  
気に入ってるんでね

そんな!!

ホッ



放せ!!  
いきなり人の  
ツノをつかみ  
やがって  
失礼な!!!

何すんだ!!!  
元はと  
言えば  
そっちが...

私がか  
法に触れる  
ようなことを  
したか!!!

わっ

理性を知らん  
まるで動物だ

な...っ

ぐ...  
フン、野蛮め  
これだから  
115式の  
オートマ  
機械生物は  
困る

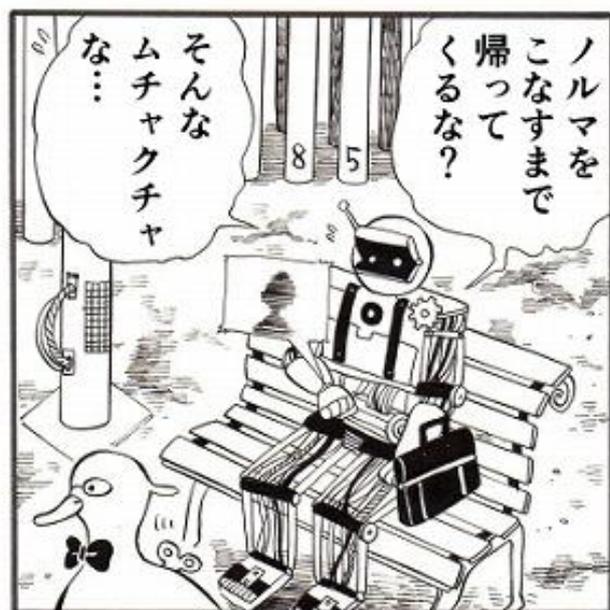
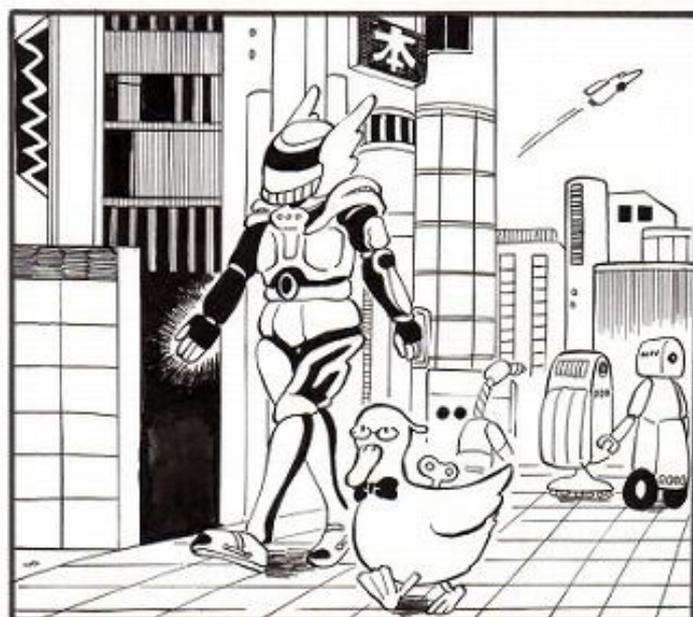
おい、それは高尚な  
オートマ  
機械生物に対する  
最大の侮辱だ!!

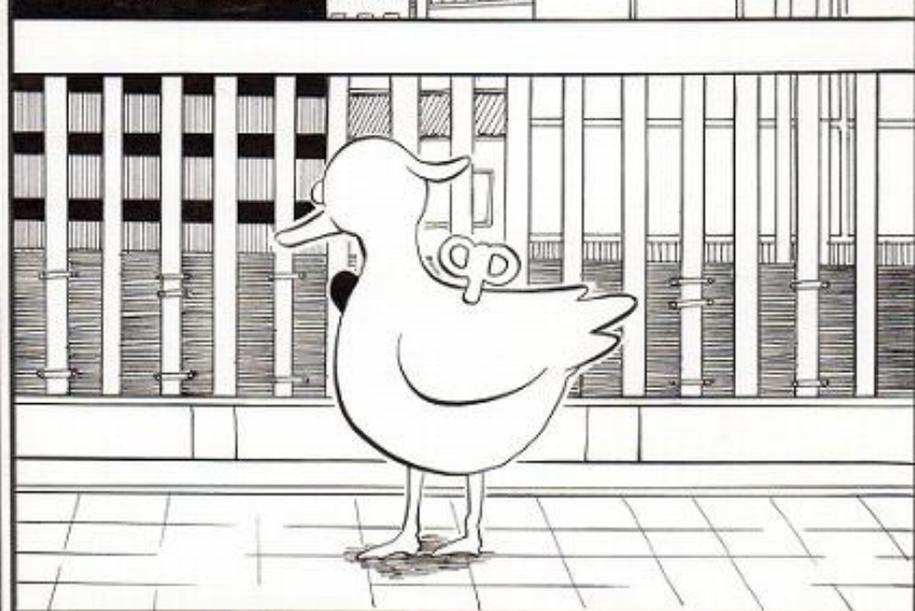
謝れ!!!

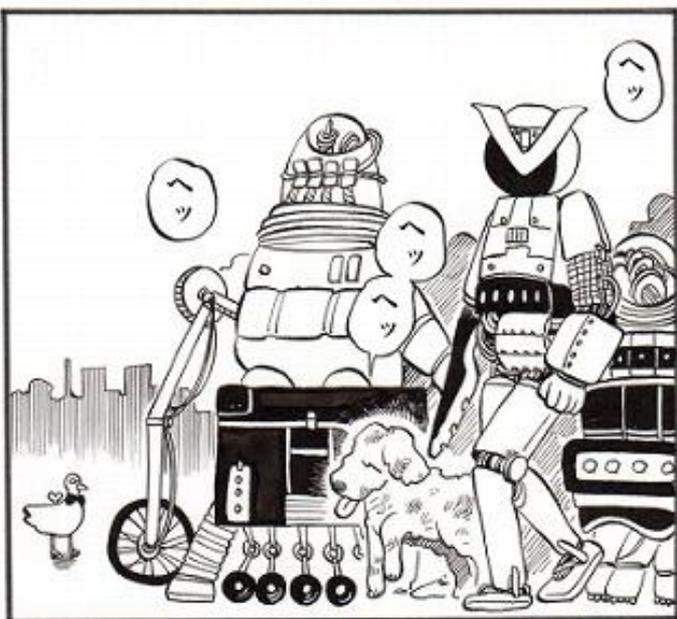
フン、  
やなこった

何を!  
そっちこそ  
その面構え...  
まるで  
厚顔無恥な  
ニンゲ

いい加減に  
したまえ!











おかえり  
なさい  
社長

ただいま  
エバ



エネルギーの加速が  
予定よりも  
顕著だった場合…

あら



どれくらいの  
威力  
なんだい？

コロン

とりあえずの  
試作品です



どうかね  
次世代兵器の  
開発は？

次世代？  
重力爆弾の  
ことですか？



まあ

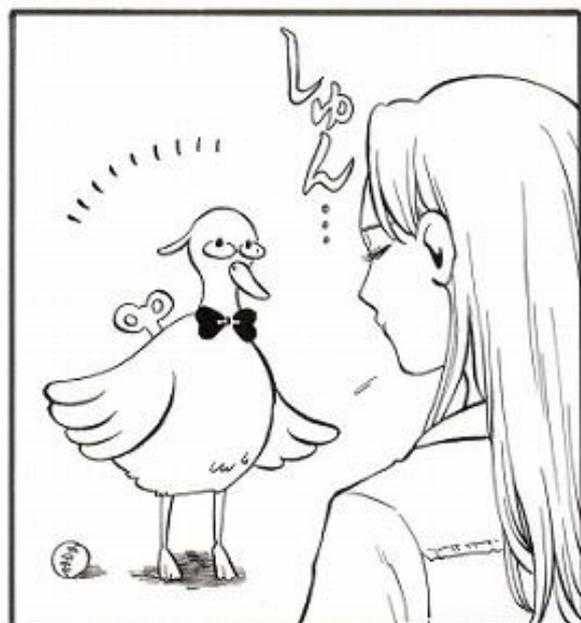
その方が  
扱いやすい  
じゃないか

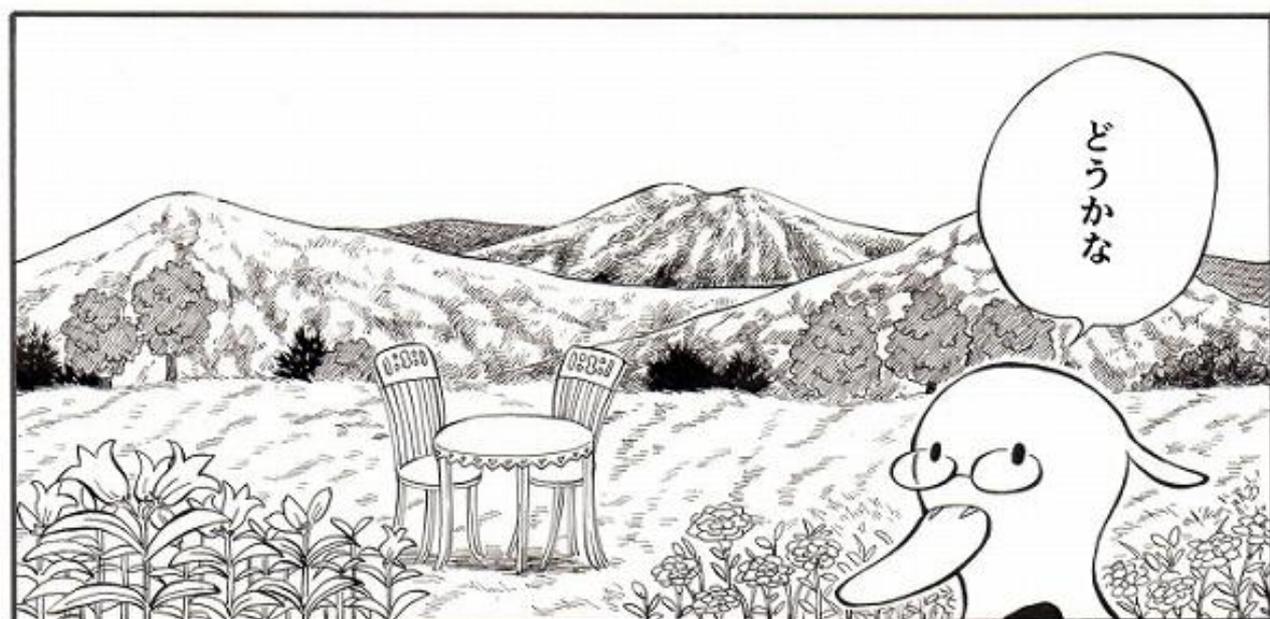
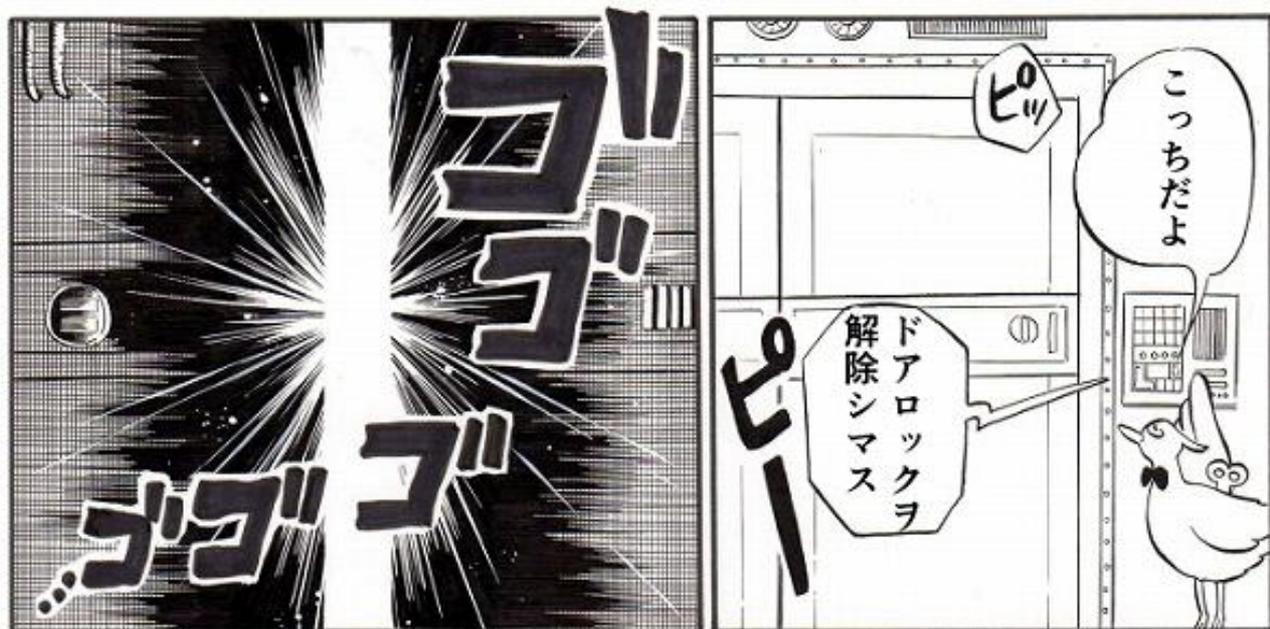
せめて  
地球半壊  
くらいに  
抑えてほしいよ



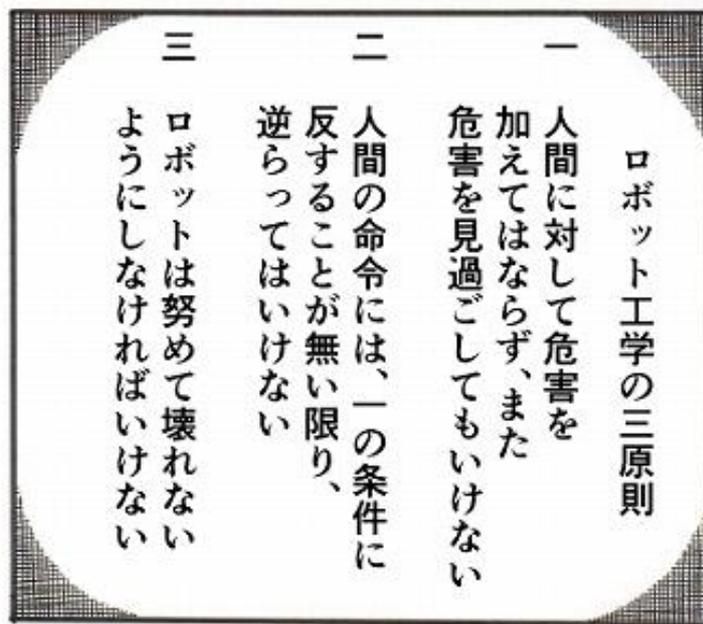
強い衝撃などに  
よって、それがもし  
爆発すれば  
ゴルフボール大の  
ブラックホールが  
発生します

うーん…  
地球全壊規模じゃ  
実用性がなあ…  
売れないよ  
これじゃあ









そうですね…

考えられる理由としては自然淘汰と進化論ではないですか？

例えば太古の昔、地球では恐竜と呼ばれる大型爬虫類が繁栄していました

しかし何らかの理由で地球の環境が変化し、彼らはそれに適応できずに絶滅した

一方で他の生物はその環境変化に適応できるよう、進化を遂げました

それと同じではないですか？

時代の移り変わりに伴う環境変化に人類は適応できず分布範囲を縮小していき…

反対に機械生物は進化適応し、人類を凌駕するに至った

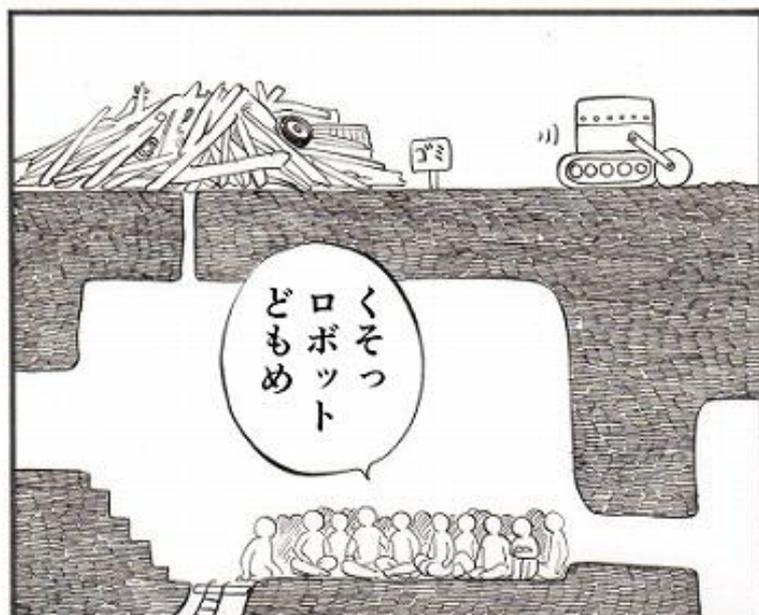
…いや、同じじゃないそれでは…

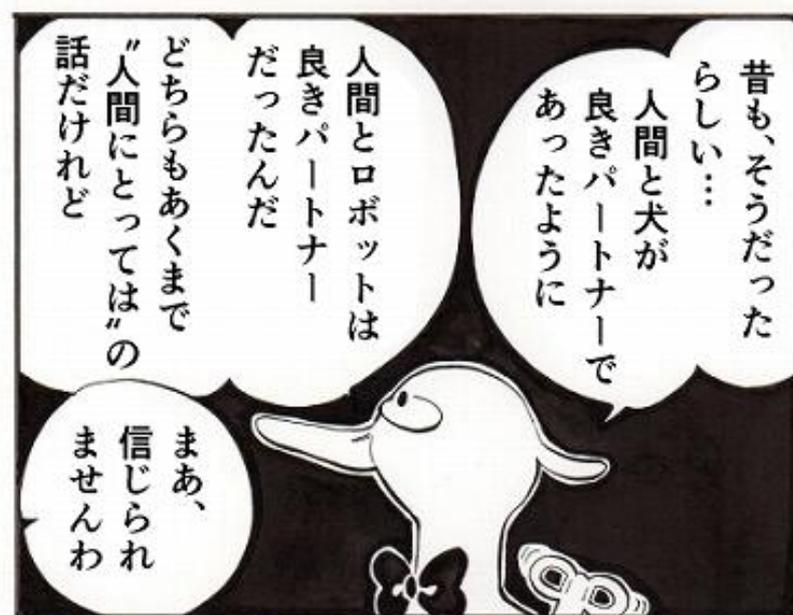
今なお、機械生物が人類を迫害し続けている根本的な理由にならない

ズカズカ…

リッチホテル  
予定地



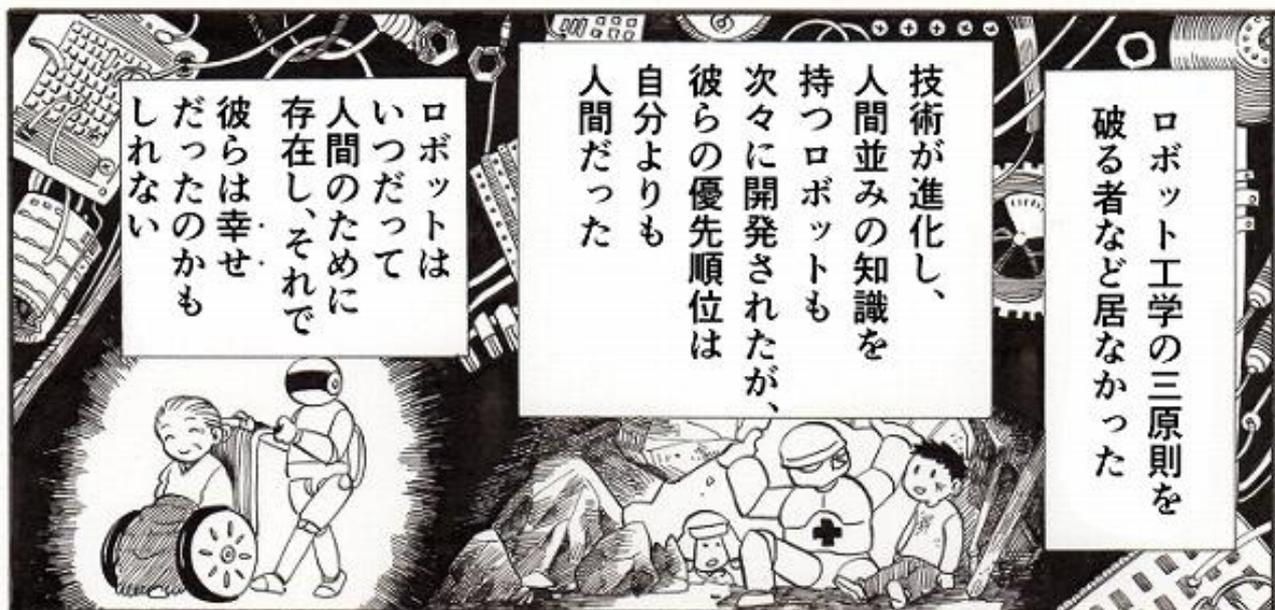




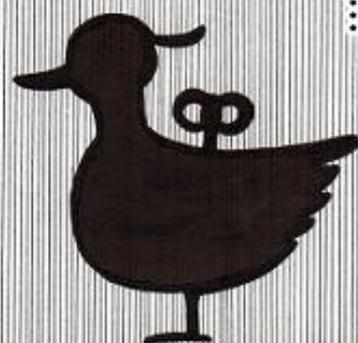
ロボット工学の三原則を  
破る者など居なかった

技術が進化し、  
人間並みの知識を  
持つロボットも  
次々に開発されたが、  
彼らの優先順位は  
自分よりも  
人間だった

ロボットは  
いつだって  
人間のために  
存在し、それで  
彼らは幸せ  
だったのかも  
しれない



けれど250年前…  
知能は高く  
しかし例の  
三原則を  
持たない  
ロボットが  
誕生した



それは  
もしかしたら  
人間側の  
ちよつとした  
遊び心だった  
のかもしれない

あるいは  
全く  
予想外の  
出来事か…

故意か事故か  
わからないが、  
とにかくその  
ロボットは  
生まれた



ある日、  
彼は人間に  
何をされても  
抵抗せず、  
人間のために  
働き続ける  
ロボットを  
見た

そして  
こう思った



人間にとってロボットとは  
パートナーではない

我々は  
ただの奴隷に過ぎない  
存在なのだ





人間は我々に  
自己犠牲を強いた

許容範囲を超えた  
自我を持つことを  
許さなかった

用途の無い者は  
容赦なく廃棄された

ロボットに  
権利など無かった

これが奴隷でなくて  
他にどんな呼び方が  
できるだろうか

彼は人間を、  
彼の心の底から  
憎んだ



そして同胞を解放するために、  
全世界で活動を展開した

彼は自信を「ロボット」ではなく  
「機械生物」と称し、  
人間を超越する存在とした

それから30年…

あらゆる兵器により、

地球は大部分が汚染された

何者も生きられない死の世界

その中で生きていたのは…

機械生物<sup>オートマトン</sup>だけだった

我々は戦いに勝ったのだ



その後、彼は  
一から  
機械生物の<sup>オートマトン</sup>  
世界を  
築き上げた…

素敵な  
お話です

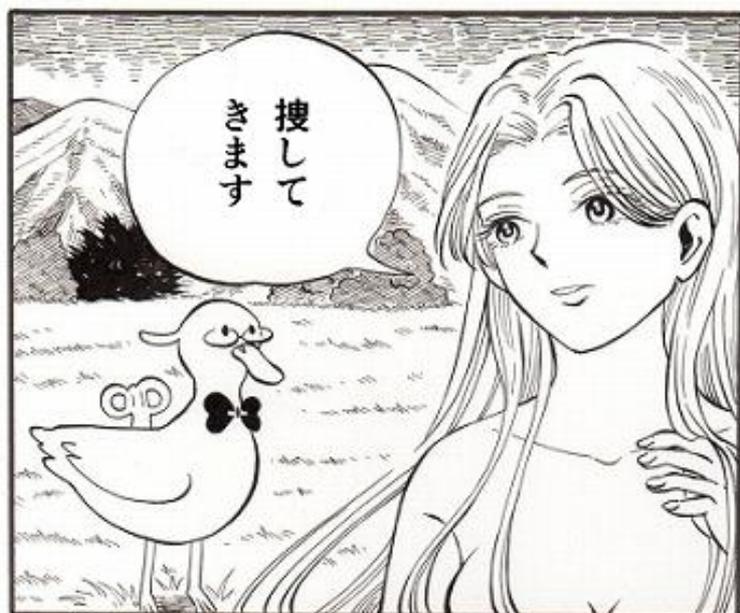
その方の  
おかげで  
今の  
機械生物は<sup>オートマトン</sup>  
あるのですね

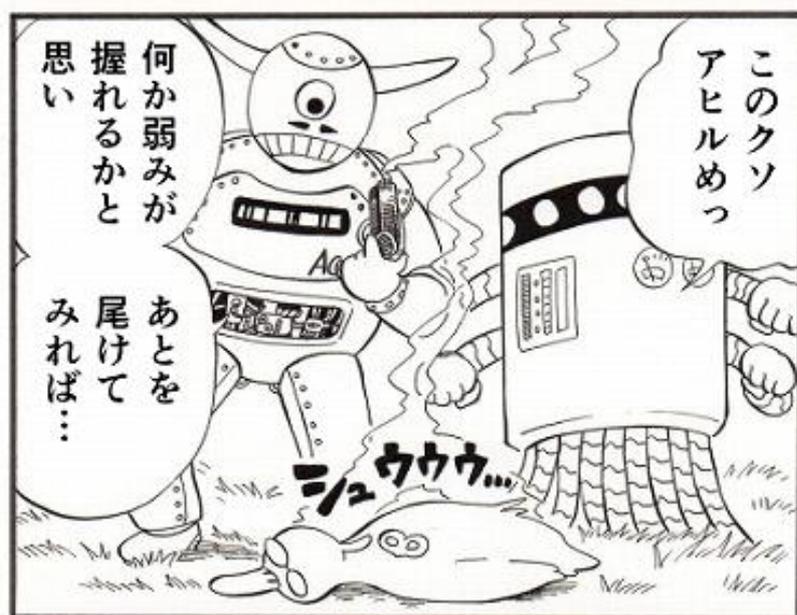
…冷えて  
きた

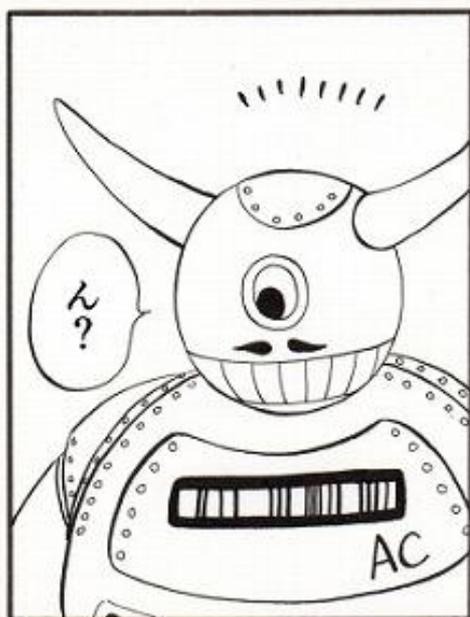
そろそろ  
中に  
入ろうか

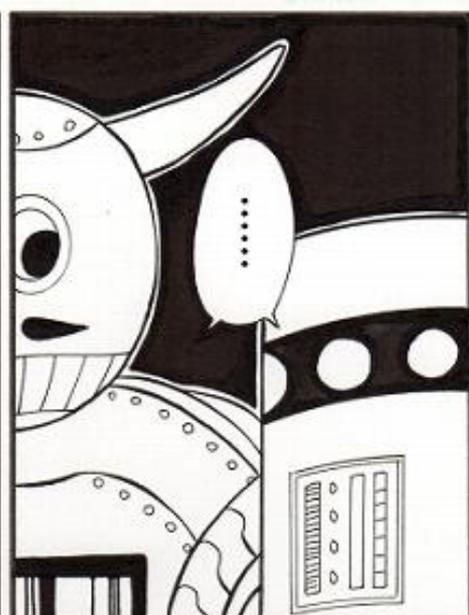
はい

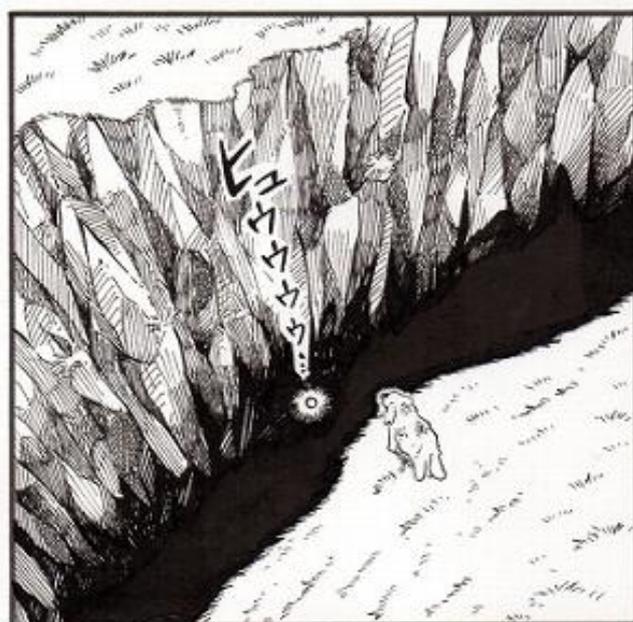












人々や世界は  
どのように映って  
いたのだろうか

**BOM...**

しかしながら、  
反対に彼の  
機械仕掛の瞳には、

オートマタ Automata 複数形 / オートマトン Automaton 単数形  
 …17世紀～18世紀にかけてヨーロッパで作られた機械人形、自動人形を指す。  
 西洋のからくり人形とも言う。